

所属名	事務事業名	ページ番号
GX推進課	最終処分場埋立工区整備事業	2
GX推進課	脱炭素社会推進事業	3
GX推進課	清掃工場施設大規模改修事業	4
GX推進課	バイオマス産業都市構築推進事業	5
GX推進課	藻類産業推進事業	6
GX推進課	藻類産業研究開発事業	7

令和7年度 公共事業進捗報告シート

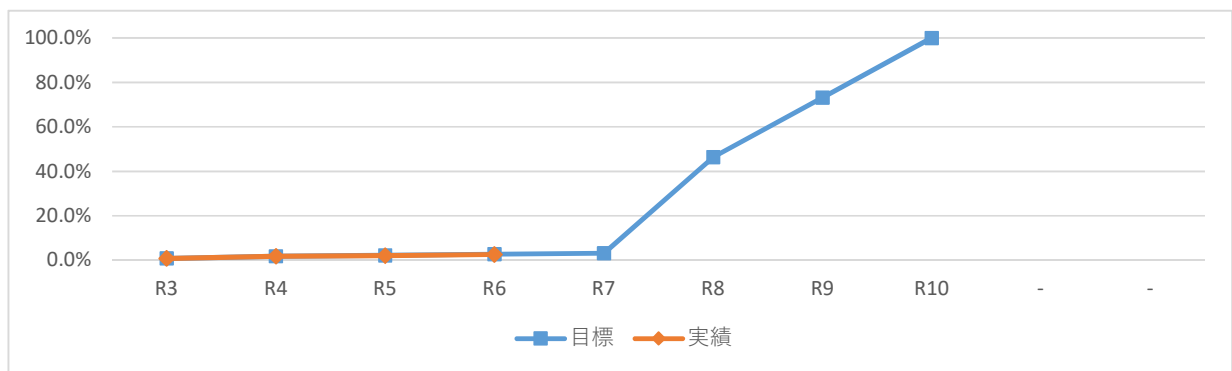
公共事業名	最終処分場埋立工区整備事業		事業期間	令和 3 ~ 令和 10 年度
担当部署・係名	GX推進課・拠点化推進室		担当課長名	田中 和之
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち		
	施策	20持続可能な循環型社会の構築		
	基本事業	ごみの適正処理		

1 公共事業の基本情報

整備概要	佐賀市一般廃棄物最終処分場の再生事業として第2工区の埋め立て物を掘り起こし、分別（土砂様物・可燃物・資源物・再資源化不適物）する。同時に集水管や浸出水処理施設の整備を行う。				
整備の目的	将来的な最終処分場の機能と容量を確保する。 これにより、市民生活に必要な不可欠な最終処分場の適正な運用を行うとともに市域の安定したごみ処理を継続する。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
工事請負費					
測量・監理等委託料	24,332	32,376	11,597	12,834	
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	24,332	32,376	11,597	12,834	
うち佐賀市の負担	16,221	13,600	11,597	12,428	
区分	8年度	9年度	10年度	11年度	合計
工事請負費					
測量・監理等委託料					
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計					81,139
うち佐賀市の負担					53,846

2 事業の進捗率

R3	目標 実績	R4	目標 実績	R5	目標 実績	R6	目標 実績	R7	目標 実績	R8	目標 実績	R9	目標 実績	R10	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	0.8% 0.8%		1.8% 1.8%		2.2% 2.0%		2.7% 2.6%		3.1%		46.4%		73.2%		100.0%		



令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	脱炭素社会推進事業（施設機能向上推進室）	事業期間	令和 5 ～ 年度
担当部署・係名	GX推進課・拠点化推進室	担当課長名	田中 和之
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	19地球にやさしい低炭素社会の構築	
	基本事業	再生可能エネルギーの普及促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	2050年までに気候変動の主な原因である二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目的とし、令和2年10月に表明した「ゼロカーボンシティさがし」の実現に向けて、住宅用太陽光・蓄電池設置に対して補助を行う。				
事業の対象者	市民				
令和6年度主な活動実績	太陽光発電（1住宅につき5万円）補助件数：40件 応募件数：157件 蓄電池（1住宅につき10万円）補助件数：17件 応募件数：191件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額				6,250	3,700
うち佐賀市の負担額				0	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
太陽光発電設備補助						件
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
			40	40		
			40	40		

成果指標②						単位
蓄電池設置補助						件
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
			15	17		
			15	17		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	活動実績から見て取れるが、需要に適した補助事業を実践できている。



今後の改善策、対応策等
本事業は市が補助をすることにより、市民の設置判断を後押ししている側面がある。また佐賀市における太陽光発電のポテンシャルはほかの再生可能エネルギー（水力、風力等）と比較して大幅に高く、目標の達成に向けても最も効果的な施策であるため、今後も継続して行う意向である。

令和7年度 公共事業進捗報告シート

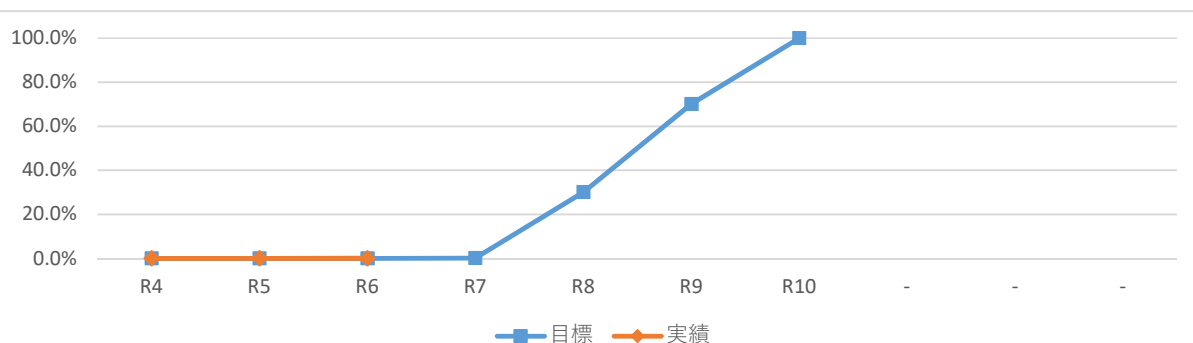
公共事業名	清掃工場施設大規模改修事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 10 年度
担当部署・係名	GX推進課・拠点化推進室	担当課長名	田中 和之
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

1 公共事業の基本情報

整備概要	施設を構成する基幹的な設備について、改修・改良を行い、エネルギー拠点としての機能を高め、二酸化炭素排出量を削減する。また、防災設備を充実させ、安全で安定したごみ処理を継続できるようにする。				
整備の目的	<ul style="list-style-type: none"> 適正な維持管理による、安心・安全で安定的な操業 回収する熱、電気、CO2の更なる有効活用 省エネルギーと二酸化炭素排出削減 災害対応の強化 				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
工事請負費					
測量・監理等委託料	2,734	4,469	4,378		
用地購入費					
補償費					
その他事務費等			30		
計	2,734	4,469	4,408		
うち佐賀市の負担	2,734	4,469	2,949		
区分	R9年度	R10年度	年度	年度	合計
工事請負費					
測量・監理等委託料					11,581
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					30
計					11,611
うち佐賀市の負担					10,152

2 事業の進捗率

R4	目標 実績	R5	目標 実績	R6	目標 実績	R7	目標 実績	R8	目標 実績	R9	目標 実績	R10	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	0.0% 0.0%		0.1% 0.0%		0.1% 0.1%		0.2% 0.1%		30.1% 0.1%		70.1% 0.1%		100.0% 0.1%			



令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	バイオマス産業都市構築推進事業	事業期間	平成 25 ~ 年度
担当部署・係名	GX推進課・政策推進室	担当課長名	田中 和之
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	19地球にやさしい低炭素社会の構築	
	基本事業	温暖化防止対策の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	暮らしから発生するごみ・排水、森林や製材所の未利用木材など「廃棄物であったものがエネルギーとして価値を生み出しながら循環するまち」を目指す。将来像として、市民・事業者・行政が連携を図ることで、新たなエネルギーや資源が地域内で循環するしくみを構築し、環境の保全と経済的な発展が両立するまち「バイオマス産業都市さが」の実現を目指す。				
事業の対象者	事業者、市民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 講演会等の開催及び講師派遣 佐賀市営バス車体への広告掲載 炭酸泉による足浴体験イベントを実施 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,474	2,961	2,925	5,441	5,654
うち佐賀市の負担額	4,474	1,242	2,925	2,313	3,889

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
清掃工場で回収した二酸化炭素の供給先企業等						者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	4 3	4 2	5 3	5 3		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	令和6年度は引き続き3社へ二酸化炭素を供給している。 また、令和8年度以降新たに1社へ二酸化炭素の供給に向けた協議を進めており、さらに、複数の企業が清掃工場周辺への進出に向けて検討・調整中である。

今後の改善策、対応策等

清掃工場周辺にて操業されている企業を支援するとともに、新たな事業者の進出を促進することにより、二酸化炭素のさらなる利活用を促進させるとともに、二酸化炭素の新たな活用策についての検討を行っていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	藻類産業推進事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	GX推進課・政策推進室	担当課長名	田中 和之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	産官学金による「さが藻類バイオマス協議会」を設立し、ビジネスマッチング等により藻類産業の創出に向けて取り組む。				
事業の対象者	企業				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「（一社）さが藻類バイオマス協議会」の運営支援 ・BioJapan・エコプロへの出展 ・日経トレンディへの記事広告掲載 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	27,542	31,306	20,060	25,749	23,941
うち佐賀市の負担額	13,771	16,463	20,060	25,749	14,430

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
藻類を活用した新規事業累計件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	6 7	9 9	13 11	17 16		

成果指標②						単位
藻類に関する商品開発累計件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	4 8	6 12	9 17	12 23		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	これまでの研究やビジネスマッチングの取組の成果が結実し、成果をあげることができた。



今後の改善策、対応策等
協議会活動の活発化、協議会組織の充実に向けて取り組むとともに、企業への情報提供やビジネスマッチングの充実化を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	藻類産業研究開発事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	GX推進課・政策推進室	担当課長名	田中 和之
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	藻類産業創出のため、佐賀大学内に「さが藻類産業研究開発センター」を設置し、藻類培養や有用成分の抽出等、藻類の産業化に必要な研究開発を行う。				
事業の対象者	企業、大学				
令和6年度 主な活動実績	・佐賀大学内「さが藻類産業研究開発センター」の維持管理				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	21,187	20,837	20,624	7,373	1,147
うち佐賀市の負担額	10,597	10,422	20,624	7,373	1,147

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
藻類を活用した新規事業累計件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	6 7	9 9	13 11	17 16		

成果指標②						単位
藻類に関する商品開発累計件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	4 8	6 12	9 17	12 23		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	これまでの研究やビジネスマッチングの取組の成果が結実し、成果をあげることができた。



今後の改善策、対応策等
(一社) さが藻類バイオマス協議会と一体となって、藻類関連の新産業の創出と培養、大量培養技術の開発、加工技術等の研究を行うことで、新規事業や商品開発につなげる。